

# 大 報 お だ け

11月16日号 (No.288)

編集と発行 — 大館市役所  
(電話) 49-3111  
発行年月日 — 昭和55年11月16日  
発行日 — 毎月1・16日  
広報紙は、行政協力員を通じて全世界に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。  
昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

<10月>  
( ) は1月からの累計  
交通事故・件数 21件(158)  
傷者 25人(224)  
死者 0人(5)  
火災・件数 4件(27)  
救急・回数 73回(885)



## 広 報 時 記

11月

### 「小 春 日 和」

落葉が日ごとに数を増して、竹ぼうきを持つ手に風が冷たく感じられるこのごろです。まだ、あたりは秋の気配がいっぱいなのに、日ざしの弱さ、日の暮れの早さは、そろそろ近づいた冬を思わせれます。また、立冬をすぎたから、春のように晴れる、暖かい日があります。夏のはじめに「夏秋」ということばがあるのに対して、これを「小春」といいます。



玉の如き小春日和を授かりし

松本たかし

日ごとに気温がさがり、寒くなっていくこのごろ、ふと訪れた暖かいおだやかな日。忘れていた春の陽気を感じさせることから「小春」「小春日和」「小六月」の名がつけられたものでしょう。

#### <11月下半期の主な行事>

- 21日(金)・寄生虫病予防運動 (～30日・厚生省)
- ・最低賃金周知旬間 (～30日・労働省)
- 23日(日)・勤労感謝の日

### ツツジ 150本を

#### 記念植樹

大館市子ども会育成連合会  
育成連合会

大館市子ども会育成連合会では、結成五周年を記念して、十一月三日長根山の大自然の家キャンプ場にツツジの苗木百五十本を植樹しました。子ども会育成連合会は、子どもたちの健全育成と情操教育の向上を目的に昭和五十年に結成され今年でちょうど五周年。これを記念するとともに子どもたちに植樹に対する関心や愛林思想を深めてもらおうとして行っただけです。

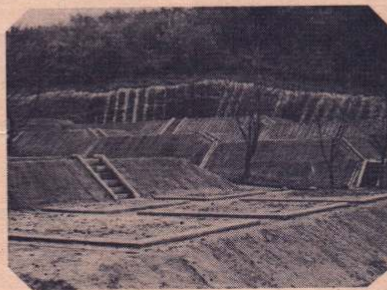
この日は、昨夜からの雪で山々はずっと雪化粧。この寒いなか市内の子ども会から、子どもたちや父兄、世話人など百五十人が参加。開会式は、子ども会連合会会長菅純一郎さんが「この植樹するツツジが立派に育ち、また皆さんも立派に成長してほしい」とあいさつ。さらに畠山市長が「自然を大切にすゝる気持が豊かな人間を作っていくものです。この木のようにスクスク育ってほしい」と激励。その後、子どもたちは手渡されたツツジの苗木を一本一本、いねいに植えていました。このツツジは、二、三年後には花が咲き、ここを利用する子どもたちの目を喜ばせてくれることでしょう。

## 十瀬野公園墓地の使用者を募集

～ 今月20日から受付開始 ～

市が花岡の十瀬野公園に増設中の墓地がこのほど完成しました。この墓地は、総工費677万円で今年8月から工事を行っていたもので、1基の面積が6.48平方メートルとなり、104基が増設されました。これに伴い同墓地の使用者を次により募集します。

- <募集区画数> 104区画
- <永代使用料> 7万円
- <申込資格> 本市に住所又は本籍のある方
- <申込方法> 申込書に住民票抄本か、又は戸籍抄本を添えてお申し込みください。申込書は市役所厚生課と花矢支所にあります。
- <申込場所> 市役所厚生課又は花矢支所
- <受付期間> 11月20日～11月30日  
ただし、期間内であっても造成基盤に達すれば締切ります。また、締切後残数のある場合は随時受け付けます。



- <番割方法> 受付期間内に申込された方については、抽せんにより決定します。
- <使用許可> 永代使用料7万円を納付し、その領収書を持参した方に使用を許可いたします。

※ その他詳しいことについては、市役所厚生課衛生係へお問い合わせください。

☎49-3111 内線242

## 文化講演会のお知らせ

市立栗盛記念図書館では、作曲家の団伊玖磨氏を迎えて文化講演会を行います。皆さんお誘い合せのうえおいでください。

- <と き> 11月25日(火)午後8時開演
- <と ころ> 秋北ホテル孔雀の間
- <講 師> 団伊玖磨氏 (作曲家)
- <演 題> 「旅と音楽」
- <入場料> 無料 (入場整理券を図書館と市教育委員会でさしあげています)



#### 一講師の紹介

「夕鶴」で日本オペラ界に新風を送り込んだ作曲家大正13年東京の生まれ。昭和25年に「交響曲イ長調」により作曲家として、また26年のラジオ歌謡「花の街」により歌曲作家として認められた。昭和27年初演の「夕鶴」は上演回数400回を数え、欧米でも大好評。また著作においても人生と文明への鋭い洞察力で、昭和40年から今年までに11冊を数えるベストセラー随筆集「パイプのけむり」などを刊行。昭和48年日本芸術院会員となる。